

西村クリニック便り 第133号

新年あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願いいたします

私の趣味の一つに将棋があります。私が将棋を覚えたのは50年以上前の高校生の頃でした。当時将棋界に長きに渡り君臨していた大名人の大山康晴さんから、棋界の太陽と呼ばれた24歳の中原誠さんが名人位を奪取し世間がこの話題で大いに盛り上がり、私の母校でも将棋が盛んとなり私も自然と将棋を覚えました。将棋界は中原さんが一時代を築きその後羽生善治さんが7冠王に輝き羽生時代を築かれます。そして現在は藤井聡太さんが20歳で名人を獲得し更に前人未至の8冠王となり、昨年6冠に後退したものの藤井時代の真ただ中であります。さてどうしたら将棋のプロになれるかについて説明してみたいと思います。将棋のプロいわゆるプロ棋士は4段から始まるのですが、その4段の棋士になるにはその養成機関である奨励会にまず入らなければなりません。この奨励会では6級位から始まり昇段を重ね最後は3段リーグというリーグ戦を戦い、年にわずか4名しか4段のプロ棋士になれず、更には年齢制限があり26歳までに4段にならないと強制的に退会させられ、結局は奨励会員のわずか15%しかプロ棋士になれないという非常に厳しいシステムであります。将棋のプロ棋士になる為にはこの奨励会を卒業するのが大前提であります。即ちアマチュアであってもプロ棋士も参加する公式戦で所定の成績を上げればプロ棋士になる為の編入試験を受ける事ができ、そこで4段の棋士5人を相手に3勝すればプロ棋士になれるという制度であり、今までほんの3人ですがこの制度を使ってプロ棋士になられた方がおられます。さて昨年10月高市早苗さんが日本で初めて女性の総理大臣になりましたが、将棋界ではいまだに女性でプロ棋士になられた方はおられません。将棋界には女流プロ棋戦というものがあり女性だけが参加するタイトル戦で戦う女流棋士はたくさんおられますが、男女を含めたプロ棋士には女性の方はおられません。今女流棋士の頂点におられますのが福間香奈さんという方で、8つの女流タイトルの内の6冠を保持されておられます。福間さんは奨励会では3段まで昇られましたでしたが惜しくも26歳の年齢制限に引っ掛かり退会を余儀なくされました。しかし奨励会退会後も努力を重ねられ、2022年には公式戦で優秀な成績を上げてプロ棋士の編入試験を受けられました。が残念ながら試験は不合格で日本初の女性のプロ棋士誕生はなりません。しかしながら福間さんはその後も公式戦で勝ちまくり昨年再び編入試験の資格を獲得されました。そしていよいよ今年の1月から編入試験が始まります。昨年の高市さんの日本初の女性の総理大臣誕生に引き続いて日本初の女性のプロ棋士誕生が多いに期待されます。福間さんの挑戦は多くの日本人に夢と希望を与えてくれるものであり、私も精一杯応援していきたいと思う次第であります。 院長 西村 章

スマホをマイナ保険証として利用するサービスを開始しました。利用するにはマイナンバーカードの健康保険証利用登録を済ませ、お使いのスマホにマイナンバーカードの情報を追加する必要があります。マイナポータルアプリから情報の読み取りを行ってください。

発行元 西村クリニック

四條畷市楠公1-14-6

072-862-3001